

学校施設

1 学校教育環境

少子高齢化など社会情勢が変化する中、学校を取り巻く教育環境は時代とともに変遷し、施設に求められる機能も多岐にわたる。学校施設においては、建物の耐久性やバリアフリー化、省エネルギー化等による安全・安心な環境の提供はもとより、多様な形態による学習活動への対応、社会的要求に応じた設備を取り入れることにより教育環境の向上を図る必要がある。また、学校施設の多くが避難所として指定されていることから、地域の防災拠点としての機能強化も求められている。

このような中、本市では、昭和39年に新産業都市に指定されて以降、人口の急増に伴い、多くの学校を整備しているが、今後一斉に更新時期を迎えるにあたり、中・長期的な整備計画となる大分市教育施設整備保全計画を平成28年5月に策定した。

また、地域構造や住環境整備などの地域性により、小規模校や大規模校などの差異が生じているが、令和4年2月に「大分市立学校適正配置基本方針」を策定し、児童生徒数の推移、学校の規模、敷地面積、学校運営など多面的な視点で学校整備の検討を進めている。

余裕教室においては、少人数指導や特別活動等の学校教育活動としての活用に加え、児童育成クラブへの転用や地域住民等への利用を促し、施設の有効活用を推進していく。

2 令和4年度 主要な事業

(1) 小中学校施設整備保全事業（長寿命化改修）

老朽化した学校建物の耐久性を高め、かつ、現代の社会的要求に応じた教育環境の向上を図ることを目的とし、校舎等の全面リニューアル工事の推進や児童生徒数に応じた施設保有量の最適化等を行うとともに、省エネルギー化や多様な学習内容、学習形態による活動が可能となる環境整備を図る。

(2) 金池小学校施設整備事業

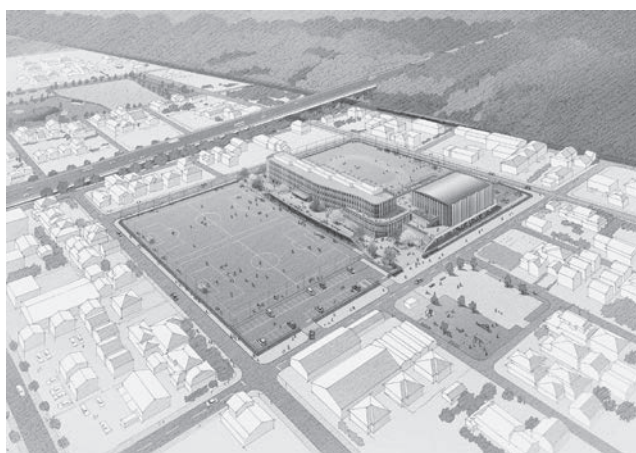
大分市教育施設整備保全計画に基づき、校舎群を改築するとともに、校地の有効活用を図るため、敷地内にある児童育成クラブや幼稚園を含めた一体的な施設整備をPFI事業にて行う。



金池小学校校舎完成予想図
(令和5年1月校舎供用開始予定)

(3) 大在東小学校施設整備事業

大在中学校区の急激な人口増加に伴い、今後大在小学校及び大在西小学校の学級数の増加が見込まれることから、通学区域を再編し、分離新設校を整備する。



大在東小学校校舎完成予想図
(令和6年4月開校予定)

3 学校施設の整備状況

事業費の単位は千円

年度	平30		令元		令2		令3		令4		
	校(園)数	事業費	校(園)数	事業費	校(園)数	事業費	校(園)数	事業費	校(園)数	事業費	
小 学 校	校 舎	55	402,227	55	1,337,544	55	1,982,719	55	1,776,000	54	4,685,158
	屋内運動場	8	267,676	5	273,191	2	12,227	2	540,000		
	給 食 室	26	29,299	50	50,725	50	24,683	50	15,000	50	8,000
	プ ー ル	8	104,295	5	12,807	8	3,092				
	用地買収										
	グラウンド整備										
	計		803,497		1,674,267		2,022,721		2,331,000		4,693,158
中 学 校	校 舎	27	154,611	28	211,368	28	359,451	28	788,000	28	280,000
	屋内運動場	2	49,216	3	7,070	1	66,656			1	200,000
	給 食 室										
	プ ー ル	3	12,977	2	7,978						
	武道場	4	34,236	1	2,028	5	4,989				
	用地買収							1	208,000		
	グラウンド整備			1	6,783						
計		251,040		235,227		431,096		996,000		480,000	
義 務 教 育 学 校	校 舎	1	2,084								
	屋内運動場										
	給 食 室										
	プ ー ル										
	武道場										
	用地買収										
	グラウンド整備										
計		2,084		0		0		0			
幼 稚 園	園 舎	26	44,000	24	33,100	17	31,268	15	34,060	13	8,901
	用地買収										
	計		44,000		33,100		31,268		34,060		8,901
合 計		1,100,621		1,942,594		2,485,085		3,361,060		5,182,059	

※令和4年度は計画分

4 安全かつ機能的で豊かな 学校教育環境の創出

- ・学校緊急時コールシステム（公用携帯）の活用
- ・建物定期点検
校舎等の建物・設備の定期的な点検整備
- ・遊具・体育器具等の安全管理の徹底
- ・防犯カメラの設置
- ・トイレ洋式化の推進

5 地域に開かれた学校づくり

- ・学校施設のバリアフリー化
（エレベーター、スロープ、手すり等の設置）
- ・学校施設の地域開放
（体育館等を社会教育団体等に貸出）
- ・地域連携施設の整備
（下郡小・明野東小・横瀬小・大在西小・
上野ヶ丘中・神崎中・碩田学園）